

平成26年3月期 決算説明資料

平成26年6月20日



エムケー精工株式会社

証券コード: 5906





平成26年3月期の決算概要

平成26年3月期の総括

業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策を背景に円安株高が進み、大手を中心とした企業収益の改善や設備投資の持ち直しが見られるなど、緩やかな回復傾向となりました。しかし、円安や原発問題を背景とした原材料やエネルギーの価格上昇に加え、新興国経済の成長鈍化などによる世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが関係する業界におきまして、オート機器及び住設機器の分野では、設備投資の持ち直しに伴い好調に推移いたしました。情報機器及び生活機器の分野では、市場が伸び悩む中、内外競合他社との激しい価格競争もあり、減収傾向のまま推移いたしました。

こうした状況にあつて当社グループは、在庫削減、合理化及びVA(価値分析)推進による経費削減に加え、製品の開発から販売まで全体最適の視点から生産性の向上に努めてまいりました。また、より高品質な商品とサービスを提供するため、企業体質の改善と人材育成に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は194億4千9百万円(前期比3.3%増)、経常利益は8億7千1百万円(前期比11.4%増)、当期純利益は5億6百万円(前期比15.3%減)となりました。

平成26年3月期の業績

<連結業績>

単位:百万円

	26年3月期	25年3月期	対前期比
売上高	19,449	18,824	103.3%
営業利益	934	870	107.3%
経常利益	871	782	111.4%
当期純利益	506	598	84.7%

<単体業績>

単位:百万円

	26年3月期	25年3月期	対前期比
売上高	17,167	16,718	102.7%
営業利益	820	744	110.3%
経常利益	786	685	114.7%
当期純利益	448	539	83.0%

平成26年3月期 連結貸借対照表

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	10,481,718	10,119,163	362,554
現金及び預金	1,706,257	1,540,003	166,253
受取手形及び売掛金	4,190,711	3,910,504	280,207
たな卸資産	4,292,962	4,379,352	△86,390
その他の流動資産	291,787	289,303	2,484
固定資産	9,272,186	9,521,178	△248,992
有形固定資産	6,096,765	6,241,767	△145,001
無形固定資産	1,453,872	1,585,923	△132,050
投資その他の資産	1,721,548	1,693,487	28,060
繰延資産	—	966	△966
資産合計	19,753,904	19,641,308	112,596

平成26年3月期 連結貸借対照表

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	7,784,254	8,717,606	△933,352
支払手形及び買掛金	988,074	1,030,272	△42,197
短期借入金	2,210,000	2,960,000	△750,000
1年内返済予定の長期借入金	842,396	1,637,843	△795,447
1年内償還予定の社債	100,000	—	100,000
その他の流動負債	3,643,783	3,089,491	554,292
固定負債	3,301,831	2,902,747	399,083
社債	—	100,000	△100,000
長期借入金	2,820,518	2,290,561	529,957
その他の固定負債	481,313	512,186	△30,873
負債合計	11,086,085	11,620,353	△534,268

平成26年3月期 連結貸借対照表

単位：千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	8,624,884	8,234,400	390,484
資本金	3,373,552	3,373,552	—
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	—
利益剰余金	2,810,575	2,419,826	390,748
自己株式	△510,386	△510,121	△264
その他の包括利益累計額	42,934	△213,446	256,380
その他有価証券評価差額金	78,408	59,150	19,258
繰延ヘッジ損益	3,036	17,390	△14,353
為替換算調整勘定	△38,510	△289,987	251,476
純資産合計	8,667,819	8,020,954	646,864
負債純資産合計	19,753,904	19,641,308	112,596



平成26年3月期 連結損益計算書

単位：千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
売上高	19,449,080	18,824,871	624,208
売上原価	13,286,724	12,989,389	297,335
売上総利益	6,162,355	5,835,481	326,873
販売費及び一般管理費	5,228,272	4,965,298	262,973
営業利益	934,083	870,182	63,900
営業外収益	93,660	70,856	22,803
営業外費用	156,445	158,880	△2,435
経常利益	871,298	782,158	89,139
特別利益	208	489	△280
特別損失	2,792	3,745	△953
税金等調整前当期純利益	868,714	778,902	89,812
法人税等及び法人税等調整額	361,949	180,457	181,492
当期純利益	506,764	598,444	△91,679



平成26年3月期 連結株主資本等変動計算書

＜平成25年3月21日から平成26年3月20日まで＞

単位：千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	2,419,826	△510,121	8,234,400
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当			△116,016		△116,016
当期純利益			506,764		506,764
自己株式の取得				△264	△264
株主資本以外の項目の当 連結会計年度変動額(純額)					
当連結会計年度変動額合計	-	-	390,748	△264	390,484
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,951,143	2,810,575	△510,386	8,624,884

平成26年3月期 連結株主資本等変動計算書

単位:千円

	その他の包括利益累計額				純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額 合計	
当連結会計年度期首残高	59,150	17,390	△289,987	△213,446	8,020,954
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当					△116,016
当期純利益					506,764
自己株式の取得					△264
株主資本以外の項目の当 連結会計年度変動額(純額)	19,258	△14,353	251,476	256,380	256,380
当連結会計年度変動額合計	19,258	△14,353	251,476	256,380	646,864
当連結会計年度末残高	78,408	3,036	△38,510	42,934	8,667,819

平成26年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,449,600	1,964,480	△514,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,600	△240,015	105,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,169,395	△1,624,287	454,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,647	7,847	12,800
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	166,252	108,025	58,227
現金及び現金同等物の期首残高	481,704	373,678	108,025
現金及び現金同等物の期末残高	647,956	481,704	166,252

平成26年3月期 貸借対照表

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	9,914,228	9,945,767	△31,539
現金及び預金	1,237,248	1,188,453	48,795
受取手形及び売掛金	3,511,517	3,350,994	160,523
たな卸資産	3,484,434	3,647,197	△162,763
その他の流動資産	1,681,027	1,759,122	△78,094
固定資産	9,125,086	9,294,351	△169,265
有形固定資産	4,650,292	4,769,864	△119,571
無形固定資産	391,549	418,832	△27,283
投資その他の資産	4,083,243	4,105,654	△22,410
資産合計	19,039,314	19,240,119	△200,805

平成26年3月期 貸借対照表

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	7,472,899	8,566,446	△1,093,547
支払手形及び買掛金	1,059,531	1,094,690	△35,158
短期借入金	2,130,000	2,880,000	△750,000
1年内返済予定の長期借入金	790,482	1,563,615	△773,133
その他の流動負債	3,492,885	3,028,141	464,744
固定負債	3,226,845	2,671,144	555,700
長期借入金	2,798,005	2,216,134	581,871
その他の固定負債	428,840	455,010	△26,170
負債合計	10,699,744	11,237,591	△537,846

平成26年3月期 貸借対照表

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	8,253,999	7,921,872	332,126
資本金	3,373,552	3,373,552	-
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	-
利益剰余金	2,439,690	2,107,298	332,391
自己株式	△510,386	△510,121	△264
評価・換算差額等	85,570	80,655	4,915
その他有価証券評価差額金	82,533	63,264	19,268
繰延ヘッジ損益	3,036	17,390	△14,353
純資産合計	8,339,569	8,002,527	337,041
負債純資産合計	19,039,314	19,240,119	△200,805



平成26年3月期 損益計算書

単位:千円

	26年3月期	25年3月期	増減額
売上高	17,167,290	16,718,267	449,023
売上原価	11,665,910	11,471,724	194,186
売上総利益	5,501,379	5,246,543	254,836
販売費及び一般管理費	4,680,502	4,502,085	178,417
営業利益	820,877	744,458	76,419
営業外収益	109,306	90,759	18,547
営業外費用	144,031	149,928	△5,896
経常利益	786,151	685,288	100,862
特別利益	203	432	△228
特別損失	567	556	10
税引前当期純利益	785,788	685,164	100,623
法人税等及び法人税等調整額	337,381	145,194	192,186
当期純利益	448,407	539,970	△91,562

平成26年3月期 株主資本等変動計算書

＜平成25年3月21日から平成26年3月20日まで＞

単位：千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,373,552	2,951,143	2,107,298	△510,121	7,921,872
当期変動額					
剰余金の配当			△116,016		△116,016
当期純利益			448,407		448,407
自己株式の取得				△264	△264
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	332,391	△264	332,126
当期末残高	3,373,552	2,951,143	2,439,690	△510,386	8,253,999



平成26年3月期 株主資本等変動計算書

単位:千円

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	63,264	17,390	80,655	8,002,527
当期変動額				
剰余金の配当				△116,016
当期純利益				448,407
自己株式の取得				△264
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	19,268	△14,353	4,915	4,915
当期変動額合計	19,268	△14,353	4,915	337,041
当期末残高	82,533	3,036	85,570	8,339,569

セグメント別分析

■ オート機器事業

主力の門型洗車機におきまして、大手顧客を中心にSSの新設、全面改装など積極的な投資がみられ、また新車販売が好調に推移したカーディーラーにおいても活発な投資が行われ、激しい価格競争はあったものの、販売台数が大幅に増加しました。一方、オイル機器では、政府の支援事業に伴う大型ローリーの需要増もあり、各種機器類の販売が堅調に推移しました。この結果、オート機器事業全体の売上高は116億2千8百万円(前期比13.0%増)となりました。

■ 情報機器事業

民需向け小型定番品、アミューズメント業界向け定番品及びフルカラー表示装置については、海外製品との価格競争により厳しい状況にありますが、新製品の市場導入等により、昨年並みの実績を確保いたしました。しかし、道路工事用表示板及び石油元売向け価格表示板については、受注が計画通り進まず大幅に売上を落とす結果となりました。また、官需分野でも、期中の受注が進まず大幅な減収となりました。その結果、情報機器事業全体の売上高は20億9千3百万円(前期比23.4%減)となりました。



門型洗車機「VIRTH ヴァース」



一般店舗向け小型表示機

セグメント別分析

生活機器事業

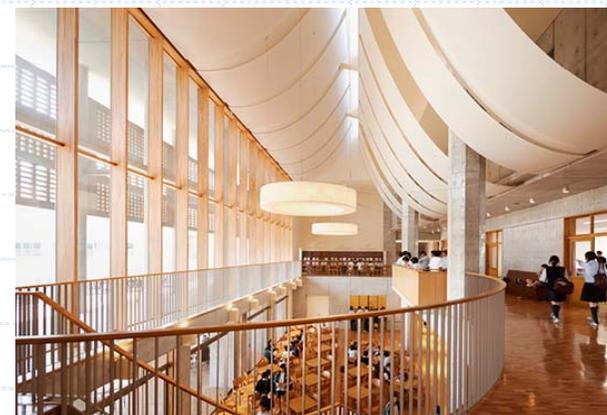
調理家電を含めた一般家庭向け商材については、海外製品との価格競争により厳しい状況が続き、小幅ながら減収となりました。また、農家向け商材の主要商品である農産物低温貯蔵庫は、市場全体が伸び悩む中、競合他社との価格競争により苦戦を強いられ、大幅な減収となりました。この結果、生活機器事業全体の売上高は38億6百万円(前期比5.9%減)となりました。



農産物低温貯蔵庫

住設機器事業

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等の製造・販売を行っております。主要取引先である建設業界は、建築資材の高騰や職人不足で公共工事の入札不調・不落が続くなど、当社にとっても厳しい環境となりました。しかし、前期からの受注残が当期の売上に貢献し、期中での受注・売上となる物件を確保することができました。この結果、住設機器事業全体の売上高は17億4千9百万円(前期比8.7%増)となりました。



木・アルミ複合断熱建具
「アルタスウッドスクリーン」の施工例

セグメント別分析

■その他の事業

保険代理業、不動産管理・賃貸業、及び長野リンデンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業については、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いておりますが、ビジネス・観光ともに需要回復の兆しが現れてまいりました。この結果、その他の事業全体の売上高は1億7千1百万円(前期比15.0%増)となりました。



長野リンデンプラザホテル

平成27年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成27年3月期の業績予想

<連結業績>

単位：百万円

	27年3月期(予想)	26年3月期(実績)	対前期比
売上高	19,000	19,449	97.7%
営業利益	820	934	87.8%
経常利益	730	871	83.8%
当期純利益	430	506	84.9%

平成27年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

平成27年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり期末配当金
平成27年3月期(予想)	8円00銭
平成26年3月期(実績)	8円00銭

參考資料

当社の経営方針

■ 今後の経営方針

当社グループは、企業理念「求・消・営」のもと、お客様(消費者)をすべての中心に据え、お客様に求められる製品を販売及び営業することに努めてまいりました。また、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案・自社販売」を基本方針として、研究開発型企業を志向しております。

なお、当社グループを取り巻く環境は益々変化しており、様々な分野において顧客ニーズやビジネスモデルが多様化しております。こうした変化や多様化に敏感かつ柔軟に適応すべく、モノづくりとサービス提供との高度な融合にチャレンジし続けてまいります。

中長期的な経営戦略

■ 中長期的な経営戦略

今後の経済見通しは、引き続き国内景気の回復が期待されるものの、国内の消費税増税の影響や、海外では新興国や欧米諸国の予断を許さぬ経済動向など、内外に数々の景気下振れリスクが潜んでおり、今後も不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループは、こうした経済情勢に過度に左右されることのない、本質的に健康な企業へと体質改善を図るため、以下の課題に取り組んでまいります。

①収益モデルの再構築

現状に安住することなく、当社グループの収益計画の達成に向け、事業戦略、商品戦略、人的リソースの最適化など、あらゆる策を動員して、行動する企業集団を再構築します。

②筋肉質な人的リソースの再構築

収益モデルを確立するため、グループ全体での人員配置の最適化、人事評価システムの再構築及び人材育成の強化を図ります。

③更なる生産性の向上

投資効果、事業継続性及び情報流の観点から、当社グループの生産性の再評価を行い、設備、レイアウト、ロケーション等の最適化を図ります。

中長期的な経営戦略

④高品質なモノ+サービスの追求

商品の品質はもちろん、それに付帯するサービスの品質を高めるため、営業部門及びメンテナンス部門の業務を、接客のあり方から見直し改善を図ります。

⑤コスト削減、財務基盤強化

在庫削減、合理化及びVA(価値分析)を徹底すると共に、為替変動や金利上昇などの外部環境変化や各事業の進捗に連係した財務対策により、持続的成長に資する財務基盤を構築いたします。

研究開発活動

当期は経済対策を背景に円安株高が進み、一部に景気回復の状況が現れてきたものの、依然として個人消費の低迷、市場における厳しい価格競争、原材料やエネルギー価格の変動に晒されました。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

■ オート機器事業

門型洗車機の発売30周年にあたり、セルフ洗車向けドライブスルー式コンパクト型高機能機種モデルチェンジを行い、記念モデル機「スーパーブライトVS」、「スーパーブライト」、「スーパーエクストラ」として発売しました。フルサービス向け及び整備工場向けの普及機としては、従来の多軸車形認識ではなく、トップブラシのアーム傾斜角を基に制御する機構を開発し、ボディに過度な負荷を与えない優しい洗車を実現する機種を追加しました。また、整備工場向け洗車機として、インバーター制御ブラシを搭載したモデルを開発し、洗浄性能を大幅に向上すると共に設置スペースの大幅な短縮を実現しました。

自動車整備機器では、前期にリリースした全自動2油種対応型のエアコンガス回収再生充填機のSS向けモデルを追加開発しました。電気自動車やハイブリッド車は絶縁性の高いオイルを使用するため高度な分離性能が求められており、作業環境と製品の効率化を求める市場ニーズに対応したものです。また、消費電力の少ないLEDを使用した小型価格表示看板や案内看板の開発を行いました。

研究開発活動

■ 情報機器事業

公官需向けでは、前期に引き続き高速道路及び一般道の道路情報板システムと高速道路の駐車場案内表示板システムの開発を行い、性能向上とコストダウンを図りました。また、地下道等の冠水警報表示システム、野球場のスコアボード表示システム等の開発を行いました。

民需向けでは、前期に開発した表示機のシステムをベースに、店舗向け小型表示機、中型表示機の品揃えを行いました。また、コストパフォーマンスに優れたフルカラー表示機の開発を行いました。工事関連、道路維持管理向け表示機では、前期に続き省エネに寄与する太陽電池を電源としたLED表示機や灯器について新型機種の開発を進めました。更にLED表示機以外の新製品として、監視カメラシステム及び電源装置の開発を行いました。

■ 生活機器事業

農家向け商材では、米袋の積み込みを楽に行うことができる5段積みシリーズのバリエーション充実をはじめとする低温貯蔵庫のモデルチェンジを行いました。また、農作業のアシスト機器として、圃場でも使用可能で機動性のある電動リフターを開発しました。

新たなカテゴリーでは、ペット関連商材としてペット犬向けのパンを焼く機能が付いたホームベーカリーを開発し、その他関連商材のアイテム充実を図るための開発を継続しています。

研究開発活動

■ 住設機器事業

主力商品の木・アルミ複合断熱建具では、ビル用カーテンウォールに組み込みができる換気窓の開発と、特殊物件対応のカーテンウォールに組み込める大型の縦滑り出し窓を開発し、それらの性能試験も合わせて実施しました。

また、木・アルミ複合防球建具(ボールガード)については、枠をアルミ製とした商品の開発を行いました。更なるコスト削減を目的とした開発を継続して行っています。

新製品情報

■ オート機器

【 門型洗車機用ガラス系コーティング 「ティアラコート」】

ティアラコートは門型洗車機で業界初となるガラス系コーティングです。

特長は、①ボディカラーを際立たせるすっきり澄み渡った光沢、②特殊樹脂「3Dレジン」が立体結合しガラスに近い硬質被膜を形成し長期間持続する耐久性、③汚れが付きにくく酸性雨や紫外線も強力にガードする防護性です。

ドライブスルー洗車機「スーパーブライト」シリーズからオプション搭載が可能になりました。



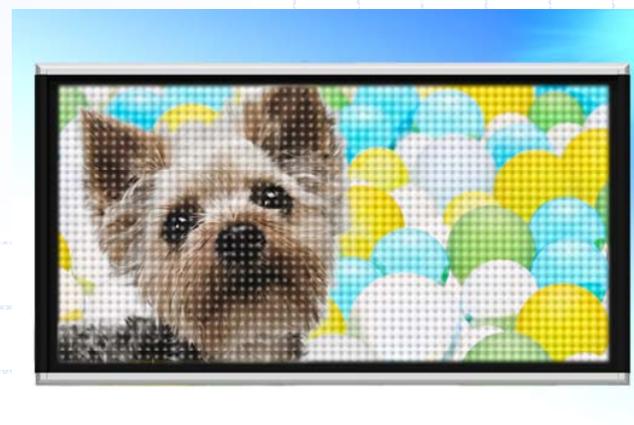
新製品情報

■ 情報機器

【フルカラー小型表示機「FQ4042/2632」】

小型のフルカラー表示機、クオリエシリーズを発売しました。

外観構造にアルミフレームを採用し、従来機に比べより軽量で薄型、スタイリッシュなデザインとしました。高品位の24ドットフォントや従来の有線LANインターフェースを継承しつつ、Wi-Fiを使用したスマートフォン端末やタブレット端末からの入力を可能にし、使いやすさの向上を図りました。その他、エコモード(省電力モード)を搭載し、より経済的にPR効果を期待できる商品となっております。



新製品情報

■ 生活機器

【自動ホームベーカリー「ふっくらパン屋さん HBK-151」】

1.5斤タイプのホームベーカリー、メニューを一新して発売しました。

ごはんのほんのり甘い味わいと、もちりとした食感が人気の、残りごは
んを小麦粉と混ぜて作る「ごはんのパン」専用メニューが付きました。その
他にも、フレッシュバター、中華まん生地、うどん、パスタ生地など、豊富
な26メニューを搭載しました。焼きあがりの良さと使いやすさで、ご使用者様
から高評価をいただいております。



株主優待制度のご案内

株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンデンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券(5,800円相当)を贈呈いたします。

発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株数	ご優待券
1,000株 ~ 1,999株	2枚
2,000株 ~ 3,999株	3枚
4,000株 ~ 9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

有効期限

発行年の翌年6月30日まで。



長野リンデンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

エムケー精工株式会社

管理本部

TEL : 026-272-0601

E-mail : soumu@mkseiko.co.jp